



市役所で行われた調印式で握手を交わす関係者(中央:加瀬喜美子社長)

「パラエルモサ」が枕崎進出 今年9月操業予定 地元から10人の雇用計画

合成・天然色素製品製造の企業

色素製品製造の株式会社パラエルモサが、白沢北町の臨空工業団地内に進出を決め、12月20日に市と立地協定を結びました。今年9月の操業を予定しています。同社は平成10年に創立。横浜市に本社を置き、合成色素・天然色素製品の研究開発や製造販売、化粧品や食品添加物、医薬品、医薬部外品の受託製造などを行い、年商2億円余り。今回新設する枕崎工場では、合成・天然色素製品の製造販売や食品用天然色素製剤の製造販売を行い、年約1億5千万円の生産を計画しています。また、最終的に地元から10人余り雇用する予定です。枕崎に進出した理由については、原料となる山川カシヨや赤キャベツの調達が優位であることや、温暖な気候が、合成色素製品の製造にも適しているということです。同社は、この立地により、県内企業との連携を通じて、県、枕崎市の工業振興に寄与したいとしています。

温かいご寄付 ありがとうございます

農事法人組合岩戸牧場(理事長 宮路善隆様)から、「枕崎の発展に役立ててください」と市に寄付金をいただきました。ありがとうございます。



寄付金をいただいた宮路善隆さんの奥様 真理子さん



この部分に苗をはさんで差し込んでいきます



「苗植機」発明で表彰

田代千宏さん(桜山本町)

田代千宏さんが発明されたカンシヨの苗植えに使う器具「苗植機」が、昨年10月に社団法人発明協会鹿児島県支部長賞を受賞しました。「手作業でカンシヨの苗を植えるときに、腰を曲げなければならず、腰が痛くてどうしようもない。どうにかして楽に早く植えられる器具を作りたいかった」と、試行錯誤を重ね、7年かけて開発し、平成16年3月に特許を取得しています。

■問合せ 企画調整課企画調整係 TEL 7 2 - 1 1 1 1 内線 2 2 5

地域づくり・人づくりのための 全国大会が枕崎で!

「地域再生等担い手育成 枕崎フォーラム」を開催

これからの地域づくりは、各地域の自主性と創意工夫のもと、それぞれの地域の実情に応じた地域再生の取り組みの推進や、そのためのひとづくり、ネットワークづくりが重要です。

これを踏まえ、国土交通省は平成17年度から「地域再生等担い手育成支援調査事業」を実施しており、枕崎市を含め全国9地域が事業の採択を受け、様々な事業を行っています。

■ワークショップ

「地域課題に 대응する担い手育成の課題」

各実施地域9地域の取組を例に3つのテーマを設定し、持続的な地域再生に必要な担い手を育てるための解決策、対応策を検討します。
第1分科会 都市農山漁村交流による地域再生
第2分科会 個性を活かした市民参加による地域再生
第3分科会 地域資源を活かした農山漁村の地域再生

■フォーラム

「持続的な地域再生のための担い手づくり」

各実施地域から出された課題やその解決の方向性を踏まえ、意見交換などを行います。
パネリスト
安藤周治氏(NPO法人ひろしまね理事)
石田尾博夫氏(第一工業大学教授 第一福祉大学教授)
本田節氏(農家レストラン) 郷土の家庭料理(まわり亭)代表
下津公一郎氏(NPO法人エコーリンク・アソシエーション 代表理事)

- 日時
・2月20日(月)午後2時～参加型ワークショップ①
・2月21日(火)午前9時～参加型ワークショップ②
担い手づくりフォーラム
- 会場 サン・フレッシュ枕崎
- 主催 国土交通省/共催:枕崎市



市長用公用車の廃止に伴い 公用車の公売を行います

次のとおり、一般競争入札を行います。

公売する公用車
平成7年式クラウン2000CC(市長用公用車)
初期登録年月
平成7年7月
次回車検満了日
平成18年7月10日
走行距離 約20万km
(平成18年1月末現在)

公売方法
一般競争入札
公売説明会
平成18年2月20日(月) 午前10時 市役所裏庭

入札日時
平成18年2月24日(金) 午後1時30分
入札場所
市役所2階会議室

※詳細については、公売説明会の時に説明いたします。なお、説明会に参加されなかった方は、入札に参加できません。

◎問合せ
秘書行革課秘書広報係
TEL 7 2 - 1 1 1 1 1
内線 2 1 1